※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本的な手芸に関する知識を身に付け、生活の中で活かせるようになる。
・毎時間の取り組み状況はもちろんのこと、デザインの工夫度など独創性を高く評価する。ひとり一人の個性を伸ばし、創造性を高める授業を行う。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、創造的な手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	刺繍	刺繍のトートバッグ製作	a:刺繍の基本的な知識と技法が身についている b:個性的なデザインを考え、表現できている c:意欲的・計画的に作品の製作に取り組んでいる	作品 レポート 観察等	作品 ﾃﾞｻﾞｲﾝｼｰﾄ レポート 観察等	作品 レポート 観察等
後期	クロスステッチ	クロスステッチのティッシュケース製作	a:クロスステッチの基本的な知識と技法が身についている b:自分の好きなデザインを選び、考え、表現できている c:意欲的・計画的に作品の製作に取り組んでいる	作品 レポート 観察等	作品 ﾃﾞｻﾞｲﾝｼｰﾄ レポート 観察等	作品 レポート 観察等
	人形作り	着せ替え人形と服の製作	a:基礎縫いの基本的な知識と技法が身についている b:個性的なデザインを考え、用途に適した材料を選び、表現できている c:意欲的・計画的に作品の製作に取り組んでいる	作品 レポート 観察等	作品 レポート 観察等	作品 レポート 観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度